





出典：大阪市、「風の道」ビジョン

## 「緩和策」と「適応策」 2つのアプローチ

安心して歩いて暮らせる  
魅力あるまちづくりを  
環境面から考える

### 市民参加型の「熱中症リスク発見ツアー」の実施



危機事象に負けない  
スマート&レジリエントなまちづくり  
アクションサポート会議 ご提案資料

平成29年7月31日(月)

さいたま・人×まち×暮らし・レジリエンス研究会



### ■実施概要

- ▶ まちの中にあたらしい機能を担う場づくり -プレイスメイキング
- ▶ コミュニティで共有する新しい地域情報のコンテンツづくり

場づくり  
スポット的に多様な付加価値を創出する  
プレイスメイキング

コンテンツづくり  
コミュニティで共有する  
新しい地域情報

クールスポット  
休憩スポット  
交流拠点  
情報拠点

熱中症情報  
防災・減災情報

小庭・緑 × 自販機 × サイネージ

写真著作権: 筑波の森  
http://blog.hokoku.go.jp/akiba\_ajinaka/archives/43227946.html  
http://www.shimizu.co.jp/press/rel-1504-03/news140.html  
http://www.ij.ac.jp/acd.com/news/works\_18.html

芝浦工業大学 システム理工学部 増田幸宏研究室  
College of Systems Engineering and Science, Shibaura Institute of Technology

### ■大宮エリアでの面的な展開イメージ (将来像)



### ■実施の背景 -地域の魅力向上 (平常時)

- ✓ 都市の回遊性を高めることに寄与
- ✓ “新しい公共性”の提案 -パブリックスペース・ commonsのデザイン
  - ①座れる、休める
  - ②都市の暑熱環境から逃れられる
  - ③水分補給ができる
  - ④まち歩きに有益な情報が得られる
  - ⑤地域のマネジメントに必要な情報が得られる
  - ⑥まちに溶け込むデザイン
  - ⑦都市の活動を豊かにし活性化する
  - ⑧災害時によりどころとなる
  - ⑨地域の活動やコミュニティを豊かにする
- ✓ 健康増進のスマートウェルネスの取り組みとも連携



- ・都市特有の高温化としてのヒートアイランド現象
- ・緩和策と適応策の両方のアプローチ
- ・人間の体感や快適条件に関係する要素
- ・自然と人間が共生する環境都市づくり

安心して歩いて暮らせる  
魅力あるまちづくりの実現に向けて